

灯くんと 石胸痛太郎



あさの ひらく

夜の森

暗やみの森を 歩きます。
まっくらな森は とても こわいものですが
灯くんは へいきです。
いつでも 灯のあかりが だせるから。



知っていますか？

夜の暗やみが 深ければ 深いほど
ちいさな灯の ささやかな あかりでも
とても 大きな かがやきとなって
まわりを てらしだして くれるのです。

闇（やみ）のにおい

暗いところでは においも 明るいところより つよく感じます。

花ばなの あまいかおりに まぎれて

いらいらしているような 怒ってうなっているような

においを 灯くんは 感じました。



うしろから そっと

それは ゆっくり しずかに
灯くんに 気づかれないように
ちかづいてきました



灯くん あぶない！！・・・かな？

石胸痛太郎

これは Pain Stoneheart (石の心ぞうが いたいよう)。
闇の森を むねの痛みに うなりながら
さまようもの です。
むしゃくしゃするので 気ばらしに
いじめるあいてを さがしている ものです。



ゆめにでてきたら こわいので
子どもは みてはいけません。
石胸痛太郎ともいいます。
どこかの 王さまに にてるけど ぐうぜんです。

びっくり

ところが

おどろいたのは 痛太郎のほうでした。

おどかして いじめてやろうと そっと近づいたのに
灯くんが ぜんぜん おどろかなかったからです。



はずかしくなって 痛太郎は
にげだそうと しました。

待って

灯くんは 痛太郎を よびとめました。

きみの 心ぞうは 石になって いるんだね



つめたいだろうね。

いたいだろうね。

あたたかい手

灯くんは 痛太郎の 石の心ぞうに

そっと手を おきました。

とても やわらかく あたたかい 手でした。



痛みが ゆるんで いきます。

ご、ごがああ！ばはは！

石の心ぞうに 花が さきました。



きいろは 痛太郎の ラッキーカラーかな？

痛太郎にも わかりました

じぶんは この小さな 灯くんを たすけられたのだと。
痛みを わすれるための ざんこくな 気ばらしで
灯くんを ふみころそうとしたのに
はんたいに たすけられて しまったのです。



灯くん ほんとうは あぶなかったんだよ。

ともだち

ともだち



よかったね。
ふたりとも。

(おしまい)

灯くんと 石胸痛太郎 -----今回は痛太郎が怖すぎるので幼児には見せないで
くださいね

<http://p.booklog.jp/book/26408>

著者：あさの ひらく

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/asanohiraku/profile>

発行所：ブックログのpapier（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/26408>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/26408>